

バストス週報

第1636号
昭和五十二年十月九日
月曜日発行
Director
Koiti Mori
Redator
Shoho Miyatake
Rua 10 de Novembro 882
C. Post. 112
Fone. 340
BASTOS
GER. 77690
Annual Cr. 十一月一日付
前金 280.00
Adiant.

鶏鳴 40 学生無気力症 (B)

ゴンチマロフという小説家が書いたイリマ。イワツチ、オフトモフという男は、大体こんな男である。「彼は目をさますと、カーマから起き上がる、顔を洗って茶をのんでから、ゆっくり、その日になすべしと思案を考へ合せ、計画を作ると、まずその仕事に打ちこもうと思立つのである。彼はその決心に重荷を感じ乍ら三十分ばかりもじもし、横になつたままをいたが、やがて、そんなことはお茶のあとでもすることができると、茶はいつものように、カーマに取りよせて、寝ながら飲むことができると、寝ながら考えたとして、何の妨げにもならない筈だ、と分別した。そして結局彼は起きない。彼は何をしようもおくうで、やる気にならぬ。何もにも無関心であった。」

この小説を読んで、ハーバート大学の保健センターの精神科医ウオルター講師は、そんな男(オフトモフ)なら、アメリカの大学に決山いる、と指摘したのである。それは十八年前のことである。それが最近日本でも急激に増加しはじめたとうである。日本ではさつぱり、無気力症患者は、始めの内は「五月病」と呼ばれていた。大学へ入って三四ヶ月になるが、周囲の様子になじめず、五六月になるとノイローゼ気味となり、保健センターに訴えてくる学生が新入生の三割に達するといふ。

しかし、この五月病というのは、軽い一過性の現象で、一二月で治つてしまふ。この五月病と似ておるが、無気力症という奴は、たちが悪くて留年(落第)の大原因になるのだといふ。

この無気力症は一見「怠け者」に見えるので、父親などがハツパをかけたたり、叱咤したりすると、とり返しのつかぬ結果になつてしまふから、注意を要する。医者に診察して貰うにしても、内科の先生では駄目だ。専門的な精神科医に相談する必要がある。患者の特徴は、A、朝起きなくなる。B、登校回数減少。C、試験単位がとれなくなる。D、積極的に何かをやろうとする姿勢がない。鬱病や分列症と見分けがたいから、早目に大学の保健センターに連絡するとよい。

勿論、治療医が気長で、患者が自覚して治したいとする意志をもつことが大切であるが、何ヶ月で治るか、と、予見することはむずかしい。との病気で同じことだが、早期に発見だ。治療は精神療法で、薬品は余り使わない。無気力症は、生れつき駄目な人間でないこと、横着でも、無能力でもない。一時脳の活動が停止したため、有能たることを示さないだけのことだ、ということを知らせざる必要がある。

下段、

これがほんとうの牛肉の味ノ

極上等の牛肉を鉄板で焼いて、鉄板ごとメーザへ持ち出し、まだじゅうくと焼けている牛肉のうまさノ



HOTEL USAMI

Rua Presidente Vargas 376. Fone 22. Bastos S.P.

お宿泊とお食事にはロードビアリオ前の本店でどうぞ。純粋の日本料理でも、フレンチ料理でも御指定通り、御家族連れで楽しいお食事には、御会食、御宴会、御婚禮披露宴のお料理バストス名物の鯉料理ノ



ホテル宇佐美
電話 二二二番

FLORA BASTOS

T. MORIMOTO & FILHOS LTDA.
Rua Duque de Caxas 524, C. Post. 171, Fone. 29, Bastos

農林省公認苗木専門農園
並木用シブツナ樹の苗木小ありませ
赤松、黒松等日本松の苗木、各種果樹の苗木、庭園用樹、鉢植用、盆栽用、サマンバイア、花の咲く木、バラ、松、ツツジ、椿、モクセイ、モクレン、藤、桃、桜、キリンマ、サツキ、
木元苗木本舗
電話 二九番

世に不況で折角大学を出たが、よい就職口がない。月給はよらず、定年延長も望みうすいという、かんぱしくない、となると、世の親たるもの、将来を期待しているのに、ムスコが学生無気力症などにかかっている。前年留年と重ねられては、全くもってお手上げだ。前回にも一歩触れたが、日本全国の大学生二百万以上の内、約十五万もの多数が精神病にかかっているという。これは、社会のみならずとも云えなくもないが、すでに患者の発生は、十年前から増え出しているのに文部省は余り関心を示さず、九百四十六校もある公立大学

て保健センターがあり、精神科医が居て、患者を指導している大学というのはいさし三四十校にすぎないというのには、何と云う空虚な経営であらうか。学生アバシーなどの研究さえも満足にやっていないのが大半だ。これでは学生患者も留年から退学というケースをとるだらうし、学校としても卒業生が減少していくのは、経営上不振であらうし、何か何だか筋がもつれて、おかし現象のようだ。

それとも、大学卒業生が多すぎるので、留年したり、退学したりする者があつても自然な淘汰法と考えておろのかも知れないな。

そういえば、小さな島国日本に一億二千もの人口が居て暮めき合つてゐるのだ。第一人口が多過ぎらあ。今しばうくすると、二億万ぐらゐになるだらう。食糧増産を調節しなければ、行き詰るのには目に見えてゐる。ほんとは戦争が起つたりして大量に減つてもうわぬといけなかつたし、交通事故で百万、二百万と減つて行く位では、ほんとは間に合ひなのだ。

高齢者なども役に立たぬ人間が毎年増加することだとして、もう自慢しておられない時代もやないのかな。学生無気力患者が増えて行くというのには、その事自体では、国家の損失だけれど、おかしげなのは消滅した方が、いよいよ気がする。こういう表現は人道上から許しがたじ話だが、又、私ごととき生産性を失なつてしまつた高齢者が無駄飯を食つてゐるのも実はおかしなものだ。と云つて消えて行くならいい以上、死なせろわけにもいかず、なかなか思つてゐるにいかぬものだ。

学生アバシーは、學問に興味を失つたが、退学しても社会で活動する気力もなし、まして労働意欲なんかもないだらうから、ま、生活力のない、高令者みたいなものだ。こういう人口が毎年ふえても困りものだ。

(この稿 終り) 系音

狸の説法 60

理事のあり方

産業組合は現存日本では豊協というらしいが、この運営者は定款で定められた六人か七人の理事で構成する理事会の合議で行われる。理事は総会に於いて、組合員によって選挙される。

この理事というのには誠にむずかしい役で、人格高潔、頭脳優秀と兼備していなければならぬので、おれがおれかといつて売り込みではどうも感心しないようだ。といつて、いくら頭がよくても、おとなし過ぎで、引、込思案でも困るし、各区より一名と決めると、優秀どころか、平凡な人物が出てくるという具合で、中々うまく行かぬようだ。

バストスの組合では脇山さんが組合長で、溝部さんが専務理事で株配を振つていた頃が花だつたが、戦後時局混乱期に二人が暗殺されてしまつたと、時局混乱という派手な理由もあつたが、組合を統率できる人材に欠けたといふ感じが強く、くたくたと崩壊してしまつた。



眼科専門

眼科一般眼鏡の度測定
眼科の手術 整形
診療時間

日曜と祭日以外は毎日
午前八時より十二時迄
午後二時より六時迄
インプスの受付致します
バストスの皆様へ

以下への出張が不可能になりましたので、誠に恐縮ですが、インプス診療所までおいで下さるようお願い申し上げます

インプス市カサリスニ七八番地
ロード・ビアリオ前

Dr. 海野 勲

Dr. ルイスカルロスアルベスネグロン
ツパン 電話 二一九〇三番

INSTITUTO DE OFTALMOLOGIA DE TUPÃ

Clinica e Cirurgia de Olhos
Prescrição de óculos e lentes de contato
Rua Carijós nº 278 Tupã, Fone; 2903 S.P.

Dr. Isao Umino CRM 22.648
Dr. Luiz Carlos Alves Negão CRM 22.615

たうであつた。

現在は鶏卵が主産物だが、当初は、棉花が主産物だった時代が長く続き、組合はポトランタンとか、トイメンとか、その他の棉花会社と組んで精棉工場を運転し、精棉から逆算して原棉値を支払うようなやり方をしたこともあつたが、遂には、組合が原棉を買入れ精棉とし、これを聖市の精棉市場で賣りさげるといふ本格的な棉花商人になつたこともある。

こうなるまでには十五、六年もかかつたであろうが、組合の棉花部と組合員(出荷者)とは値段のことで毎日大喧嘩であつた。

そういう際森原理事がカスカッタから選出されて組合入りをした。森原氏はすぐ棉花理事に就任した。彼はなかなかのやり手で、組合の収入源である棉花で儲けなければならぬと考えたようので、棉花購入にしても可なりきびしく、容易に出荷者の要求には応ぜず、従つて喧嘩も激しかつた。値段が折り返らぬと精棉にして後金払いとすることをすすめ、そういう全棉出荷者もたんだんと多くなつた。

当時精棉工場主任技師は坂間さんという温厚な人で、技術も素晴らしく、レンシメント(歩どまり)一九%とかいう最高率であつた。これが総領事館の身に入つて青木技師に大変はめられた由である。

総領事で各地組合幹部の会合があり、その話が出た時、チエテカアリアンサの組合幹部が森原氏に向つて、バストスの精棉レンシメントの秘法を教へてもらいたい、と云つたところ、森原氏は直ちに、「それは秘中の秘である」と云つたので、青木技師は「組合というものは、そういうことば相互に公開して

利益を配り合うものだ。秘中の秘とは何事か」と叱咤した。森原氏の腹では「機械や技術の問題かどう簡単に話せるもんじゃやない。覚えなければ技術者をよこして覚えよ」ということだったと思うが、言葉としては、今言った秘中の秘になつてしまふ、青木技師の叱咤にあつて癪にさわつたのだらう。会議の席を立つてしまふ、最後まで顔を見せなかつた。

森原氏は悪い人ではないが、さういふ一面があり、組合員ともよく喧嘩をしたものである。精棉工場の中にも硬骨漢かいて正論を吐いて森原主任と口角泡をとばすこともあり、山中弘君など正面衝突をしてしまふ、大切な時期に辞職してしまつた。満部専務が仲に入つて斡旋したが、森原氏は主任の面目にかけて誠にしてしまつた。たゞ、人づかいは上手とは云えないようだった。

山中氏は後にゴチアに入り、下元氏に認められ、ゴチア青年移民の大將として腕を振舞い、訪日して多勢の青年移民を導入した。

一方森原氏も部下と衝突している内はよかつたが、遂に満部専務とぶつかつてしまつた。

何のことで衝突したか忘れたが、「組合は、金儲けをする處ではない」と言う森原氏、「いや、組合だとして金が必要だ、入用なだけ儲けねばならぬ」と言う満部専務、これが理事会で論争となり、脇山組合長の仲裁にもかかわらず、森原理事は辞職してしまふたのである。

辞職してしまふだけなら、それも仕方ないが、次の総会で理事会に推さぶりをかける、つまり、内面を暴露することを計画していることがわかつた。

推さぶりをかけられたとど別にあやしくなけりやまいわけだが、平地に塹を立てるようなことをして、組合員に不安を興へては面白くないと云ので、理事会では頭をひねつていた。

これを聞いて私はどちらの肩をもつというわけではないが、理事仲間で喧嘩をしては見苦しい、といつて今更仲裁はむすかしい。これは総会の席で彼の発言をとめるより仕方ないわけだが、何かよい智慧はないかと頭をひねつてゐる内、ふと思いつくことがあつた。これは公にはされぬことだが、それを、におわすことは、さしつかえあるまいと考へた。

以下次号へ
糸音

売住宅

◎木造建住宅四軒 土地面積185メートル×20メートル
場所 南米銀行の裏側、住宅地としては最良地
バストス市ルマレシマル フロリアノ街

御希望の方は御来談下さい

バストス サウーデー区

沖山知己

連載小説

バタアン死の行進

政火野 葺平 氏

「食事なども彼等米兵はたうらく食べている。それに米兵は等一線に出ず、われわればかりを危険なところへ出す、フイリソピン兵の中で投降したがつては者が非常に多い」

「そんならに投降したい者が多いなら、指揮官をやつて、みんなを投降して来たならよさそうなものではないか」

「それは、なかなかむすかしい」
この日から二日後、私たちはクリサイ川畔の台地のうへで、敵陣地に向つてしきりに呼びかけを行つていた。夕暮れどきであった。

私はこの地点が問題の場所であることを知つて、私たちのいる崖下の窪地に一本のカソイの木がある。それはあの事件以来、指につけていた果実の多くを減らしていたにちがいないが、私にはそんな判別はつかなかつた。黄色い果実はいまも豊富に実つてゐるやうに見えた。いつかの夜、このカソイの木を中心に演じられた喜劇の一幕を思い出したとき、私の頭にふいに一昨夜の六人の投降兵の顔が浮かんだ。私かこの文章の冒頭に書いた夜、タリサイ川を渡つてカソイの実を取りに来たフイリソピン兵は、あの六人の中にいるのではあるまいか、それがトリガンの戦友トマス、フレ

温泉行おしらせ

サンタバルバラリオパルト

来る十一月四日(土)午前八時、ホント発

おべんとう一食分用意のこと

当用ツマシタ 一泊

○十一月五日(日)アルモッサ食帰途

費用 御一人四百クルゼーロス

人数 二十六人迄

申込金五〇クルゼーロス(申送されども返金せず)

申込所 上西 方及公梶山迄

バストス明老会

明老会 各員各位

テリノであるかどうかはわからないけれども、その男
 が仲間五人をかたうって投降して来たのではあるまい
 か。おかしなことに、それは次第に一つの確信めいて
 来て、私の心を暖くした。彼がもし先導者だとすれば
 その動機の中に、日本兵の不思議な親切にたいする信
 頼感があったにちがいない。それなら、それは単に胃
 袋の問題でなくして、民族を中心とする一つの思想
 に対する漠然とした追従ではなかったであろうか。
 タリサイ川が黄昏のうす明りにきらめいている。こ
 の川をへだてて殺戮を目的としている敵味方がいる筈
 であるが、森閑とすまじりかえったシャングルの後装
 の中に、人間の姿は一個も見えない。

しかし比島兵トリガンはマイクを通じて、その空虚
 に向って絶叫する。英語である。色の浅黒いトリガン
 は身体も顔もすべて細づくりで、鬚髪をきれいに力
 つけ、ちよび髭をたくわえている。大体フィリッピン
 人はおし、イノガ、牛乳の臭シマツ、鮮色のスオン、
 カーキ色のスボーツ、キヤップ、という満洲たる服装
 を見ると、これが前身工兵伍長であったとは、ちよ
 と思えない。ただ、いつ弾丸や砲弾の飛んで来るかも
 わからない最前線に、おそれず出て行くことによ
 って、彼が兵隊であり、なにかの内部からの敬求を持
 っていることを知る。
 船のある竹林の根に隠されたマイクは、敵陣地の方
 を向いている。

「なつかしい戦友諸君。元気でいるか。おれの声か
 かるか。おれは三三聯隊のガブリエル、トリンガだ。
 諸君の親友、フィリッピン兵隊だ。おれはこの間ま
 る、君たちと一緒にいた。君たちと一緒に戦った。今は
 日本軍の方にいる。君たちに逢い、ゆっくりと膝つき
 おわせて話したいが、戦線が別になつたので、今は駄
 目だ。ただ、おれは今、生命かけて諸君に忠告するこ
 とを聞いてくれ。おれは数日前に、マニラの家族に逢
 って、ここに来たばかりだ。おれが日本軍の捕虜にな
 っているから、家族に逢つたなとということが、諸君
 には信じられるか。おれも夢のようだった」
 トリガンは一息つく。彼の声は一段と高くなり、精
 熱的となる。

「日本軍が捕虜を殺すというのは嘘だ。途方もない逆
 宣伝だ。おれはそのことをどうしても、諸君に知らせ
 たい。ここは第一線で、決して安全な場所ではない。
 しかし、おれは危険をおかしてや、て来た。おれは自
 分ひとりかまひことをして、戦友である諸君を見殺し
 にすることができなくなつたからだ。おれたちの戦線
 の生活はひどかった。米兵はたうふく食べおれたち
 は食糧のようだった。ところが、今はどうだ。おれは
 夢にも忘れなかつた家族とともにいる。母も姉も、悉
 人も、同じところにいる。そして三度々々、暖い物を
 食べている。マニラは復興して、毎朝、毎夕、教会の
 鐘が鳴る。映画館、劇場、ホール等は開かれて、街の
 賑いは戦前とすしも変わったところがない。君たち投
 降兵が殺されたと思つたかも知れない。とんでもない
 話だ。おれのみでなく、外方戦友たちも沢山い
 んな無事だ。二三日前は、戦友トマス、フレデリノも
 君たちの戦線から、おれたちのところへや、て来た。
 そして、思いかけぬ幸福に、涙を打かしてよろこび
 、どうしてもうすこし早く来たか、たかと、後悔して

エスクリトリオ リオ ブランコ

石川法律会計事務所

移転御挨拶

当事務所も皆様のお引立を頂き、お陰様にて日増に
 多忙になつて参り、旧事務所が手狭になりましたので
 去る九月一日から、サンジセ中学校の下隣りの新事
 務所へ移転しすでに開業して居ります。倍旧の御
 お引立を願ひ上げます。

尚皆様に御満足を頂ける様ミニコンプターを導入
 し、事務の迅速化を計つて居ります。又警察関係の
 デスバジエス(諸願書)お引受け致して居ります。
 また、農村電話組合の事務も従前通り当事
 務所て取り扱つて居ります。

ルア、アルミンテ、アレンランド、街 五〇八番地

法律会計事務所並に農村電話組合事務所

石川 雅 宏

電話三〇一番及び二〇八番
 農村電話 四五・二二二番

「諸君はバターマンの土となり、屍となつて腐るこ
 とを望むか、無事で家族のところへ帰る方を望むか。
 戦場なので、長たうしくいつている間がない。戦友諸
 君、銃をすてて、日本軍の方へ投降して来い。日本軍
 は暖い心で、諸君を迎える。後で後悔しないように、
 今、決心をして、地獄から脱出して来い。」
 宣伝が謀略という政治的意図から出ていることは論
 をまたない。しかし、私はその白々しい形式の中にも
 、いつも真実を発見したいと考へてきた。無類の悪意
 をも、宣伝の隠れ蓐で隠蔽したり、欺瞞や詐術を以つ
 て、美しい幻影を印象づけることは可能であるが、魂
 が叫び、これに同調している純粋な感情は、どんな欺
 詐形式の中からも、人の心を動かすにちがいない。

形式は信用力なくならない。その中に打
 出される感情の白熱は、けつして虚偽とはいえないの
 である。しかし、やはり、形式の悪さというものは致
 命的だ。

トリガンの情熱も、真実も、そして、努力も、空虚
 な裏切り者の声として、弾丸を浴びせられて中止され
 るのが落ちだった。しかしながら、時間にごまかされ
 る歴史の表情がどんな否定を行つたとしても、私はこ
 のときのトリガンの絶叫を、今でも単なる宣伝謀略と
 考えることが出来ない。しかし、それが神の声であつ
 たか、どうかは知らない。

6

四月三日、総攻撃開始。
 凄絶な死闘をもって終結した。この時の戦況をたど
 ることなどは、ここで省略したい。無意味ではないけ

れども、私には作戦の経過よりも、もっと眼をとめて眺めなければならぬことがある。四月十日、バタアン半島の最南端、敵司令部のあったマリベレスの町へ入ることによつて、日本軍の一方的勝利となつた。バタアン既定作戦は終わったのである。そして、この勝利こそが、昭和二十年八月、日本の全面的敗北を契機として、はたはたしい汚辱と恥を生み出したのであつた。

當時の軍司令官本間中将は、この時の勝利がもたらした、狸の尻尾のような、怪しく陰惨な現象によつて、銃殺される軍命におちいつたのである。

ともあれ、長い間文藝状態を脱して、全軍が攻撃を開始した時、カソイの兵長をはじめとして、多くの兵隊たちが共通に叫び出したのは、

「今度こそはアメリカさんにお目にかかれるぞ」という期待の言葉であつた。

二本の槍のような独立樹が聳えている敵の第一線、サマット山がまた突破された。混戦したその山中で、二十一師団長マテオ、カビンビン代将が捕虜になつたのは、総攻開始から三日目、四日五日の夕刻である。

六日、リマイ山の森林中に小休止していると、前方から、米兵の捕虜が三人、針金をつなかれて、つれられて来た。戦線ではじめて見るアメリカ兵である。一人は下士官で、相当年輩の背の高い男、あとの二人はまだ若かつた。軍服は汗と泥にまみれ、顔もよごれくさつていたが、眩しき目に涙を流して、仏頂面をしてゐた。彼らのあとに十名ばかりのフィリップピン兵がいた。部隊長が捕虜を引率して来た兵隊に、なぜアメリカ兵だけ針金をつなぐのかと訊ねた。

鬘だらりの上等兵は当惑顔で、

「逃げると困りますから……」

「逃げればせんから解け」「はい」

不承不承に兵隊は針金をほどいた。不器用な上等兵が針金の結びをはずすのに手間をかけているのを、此のながら、連結された三人の米兵は、忿怒に耐えぬ面持で、はかばかしくしてゐた。

七日、マンゴの木のある台地で、捕虜の集団を見た。五六十名、ほとんどが比島兵であるが、中に三人の米兵の顔があつた。投降して来たらしく、急ごしうえしたカーテンの白旗を一人が持っている。三人とも疲れた顔をしてゐたが、同じくへとへとになつてゐるフィリップピン兵たちの疲労困憊しきつた青黒い顔に較べると、まだ健康さが目立って感じられた。

やかてシマングルの奥に、奇妙なざわめきが聞えた。一団の敵兵が近づいてくる。十人ほどのフィリップピン兵が一人のアメリカ兵を縛し、こすさまじいながらやつて来るのであつた。大兵のアメリカ将校は大尉の肩章をつけていた。彼は不愉快そうに法面を作つてゐた。あまび髭を生やした先頭のフィリップピン兵は、けさけとした態度で、私たちの前までくると、報告した。「これはアメリカの督戦隊長です。こいつがわれわれを前線に出して、うしろから督戦するので、われわれは仕方なしに戦わねばならなかつた。われわれが食うや食わずであつても、こいつはちつとも同情してくれん……」

「こんなのを」と彼は米兵のポケットから、携帯口糧の詰詰をひき出して、「自分たちばかりで食へて、われわれには一度もくれたことがなかつた」とさういふながら、その詰詰をこじあけ、仇討つようにむしゃむしゃと食へはじめた。

この辺一帶は米正規兵が守備してゐて、激戦が展開されたところである。勇敢なアメリカ兵が多く、日本軍はこの陣地を突破するのに難渋した。小こ内宛倉陣地にいた一人のアメリカ兵が、マキシム機関銃を巧妙に操作するため、しばらく前進出来なかつた。その兵隊は蜂の巣のよう弾丸と銃剣を身に受けて死んでゐた。いたるところに、米兵の屍体があつた。それに、比島兵と日本兵の戦死体かまじつてゐた。

日ごと投降兵が増して来て、進撃部隊は日比聯合軍の視を呈した。ラマオ川を渡ると、破壊された道路上に、多くの自動車、トラックが放棄されてあつた。それらは何どこか部分品が抜きとられていて、運転しようとしても動かぬ車が多かつた。また大部分が焼かれていた。

灌木林の中にあるトタン屋根の小屋に入つて休憩した。そこは米将校の宿舎であつたらしく、折りたたみ式の寝台が三つあり、乱雑な遺棄物の中に、美しいトランプ札が散らしてゐるのが眼を惹いた。女の赤い手袋があつた。

九日、アモ川の少し手前のマンゴの木の下場に、数百名の米比兵が陣をつくつて噂つてゐた。マンゴの幹に、巨大な白旗を立てかけてある。戦い疲れた多くのアメリカ兵はぐったりとなつて、前後不覚のようになり、土埃の中に顔を埋めて寝てゐた。担架に載せられてゐる負傷兵もあつた。

高い峠に出ると、日本軍の部隊長と敵軍使との会見が行なわれていた。白旗を立てた二台の自動車は止つてゐる。二十名近くの服装のきちんとしたアメリカ兵

ARTES GRAFICAS GRAFISUL LTDA

Rua Pres. Vargas nº353 - Bastos SP.
 Antigo predio do Blo Anérca do Sul
 Atendemos pelo telefone - 281e 282
 Impressos - Notas Fiscais
 Notas Produtoras
 Cartões de Visita
 Convite de Casamento
 Fichas de Contrôlê
 Qualquer tipo de Impressos.



Perfeição rapidez e bom acabamento
 Escrever que estamos funcionando com os maquinas modernos Automatica que faz qualquer tipo de Impressos

印刷機は最新式モデルノ オートマチコ。活字は全部新品を揃へましたので印刷の鮮明さと仕上げの美しさは皆様に御満足頂けるものと自負しております。多少に拘らず 御用命下さい丁寧 迅速 妥価。

電話 二八一番 及 二八二番

高級印刷所グラフィスール

美術印刷所 開業御通知

元南米銀行の建物にて営業
 ノックフィスカル
 農産物出荷伝票、
 訪問用名刺の色々、
 結婚式の案内状
 その他の印刷物

校が、三々伍々、かたまつて腰を下してゐる。自動車に乗ったままの者もある。頭のきれいに禿げあがった長身の米將校は、旅団長アイヴス大佐であった。腰には水筒と拳銃の弾丸入れだけをつけ、面長な顔には銀縁の眼鏡をかけていた。ちよつと軍人はなれがして居り、態度はどこか放心したようかところがあった。「貴官はどつちの軍で来たのか」と日軍隊長は質問した。

「自分は東部地区担当の旅団長だ。麾下の聯隊長二名と砲兵司令官、その他の幕僚をたかえて来た。キング指揮官は今晩六時半に降伏を声明したのであるが、戦線が混乱状態におち入、たために命令を徹底させる方法がなかった。伝達することの出来ない部隊は、いずれも正面の日本軍のところへ降伏を申し出る筈だ。自分も可能な範囲で、麾下部隊の兵力をまとめおいて来た」

「貴官は全面的降伏というが、まだ、射撃をしてゐるではないか」

「それはコレピドルが射つのだ。コレピドルのことは、われわれは関知しない。また、他地区のことはわれわれとは無関係だ」

「貴官は幾つになる？」

「五十五歳、もう年をとりました」

「煙草はいかか？」

「いや、自分はこれかまい」

アイヴス大佐は、日頃愛用しているマドリス、パイプを取り出して、目にくわえた。私が後の中にいると、一人のファイリッピン兵が近づいて来た。

「アイヴス大佐以下は降伏を申し出て来たのですか？」

「そうです」

彼はいきなり私の手をかたく握りしめて、強くゆすぶった。

「私はこれらの米兵のために戦場に持ち出されたんだ。もう何もかも終わった。私けうれしい」

興奮して早口で喋るファイリッピン兵の眼には涙が浮んで来たようだったが、私はなぜかむっつりとなつて、彼へ祝辞を贈る気持にならなかつた。

やがて南下するにしがたが、捕虜の大群が松たちの前にあらわれた。それは激々として、溢れこ来るという感じで、私は異様な衝撃をうけた。

いたるところの左堤や道路に、アメリカ兵、ファイリッピン兵の投降兵が密集し、その間に避難民の群れがあった。森の中から、林の小径から、崖のかけから、アメリカ兵は列をなして出て来た。いずれも背が高く、色の白い端正な顔をしてゐるが、その足どりは重そごであった。或る者は不精髪を梳かして、腕に刺青をほどこしてゐる者が少なくなつて、私の注意を惹いた。赤十字の腕章をした米兵がいた。野戦病院が附近にあるらしく、赤十字の立札が各所にあった。

投降兵は誰も武器を持たず、水筒だけを後生大事に腰にぶら下げている。

こういう捕虜たちの間に、日本の兵隊がちよろちよろしている。捕虜百人か二百人か一人の割合で、日本兵がつかまつてゐるのだが、彼の顔はくすくすとしたような当惑に満たされてゐる。勝利の快感が彼を満足させてゐるにちがいないが、彼は、今度こそはお目にかかると思つたアメリカ兵が、あまりにも莫大に数で、

シツチオ売り度し

土地面積 十アルケールレス

住宅 二棟 倉庫 一棟

蚕舎 ノイボク又52瓦 製材ブロック

桑園 四アルケール半

ポンカン畑三アルケール又千五百本内モロコッチ九十本

柑橘販売許可済

電力 15カバロ トランス・ホルマードル付き

水道設備・井戸ポンパ付カインダグア

シュベロの一切完備 養鶏に最適地 委細面談

「売り物」

トラトール、 昨午デホールマ

カレタ・トンバ・グラデー カルデーラ

マリン九百本マテリ、ブラチカ製・電動機は枚機

消毒用初田ボンバ・シンコ製シキ・カレトン付き

バストス・セツンサウーデー

沖山知己

自分がその洪水の中に流されてゐる木片でもあるやうのが、何となく照れくさいのである。彼は米兵の肩くわいしかない。おまけに、陽に灼け、軍服も帽子も埃と汗でぼろぼろ、軍靴も口をあけてばくついている。すこしも汚れていない米兵の垢抜けた服装の中にまじると、まるで乞食だ。しかし、彼は今や勝利者として絶対の権力を持つてゐる。巨大漢の群衆は矮小な日本兵の自由になる。危険な傷越感がこつこつと人問を歪めるのである。戦争の中には正義も人道もありはしない。ただ強弱と勝敗とがあるだけだ。それは絶対のものであつて、戦場のデカクニスムの最大な要素となる。

「オイ、歩け歩け」というとき、一等兵は、將軍のような気持ちだ。無数の自動車か道いっばいに遺棄されてあつた。動くのけ小敷であつた。しかし、道路が破壊されていたり、車と人で埋まっていたりして、車の運転は難渋をきわめた。難民をトラックやバスで、送つてやることになつたけれども、車はどこまで行けるのか、当てはなかつた。戦火を追われた住民たちの哀れさは云いようがなかつた。彼等の大部分はパタアン半島に入れば安全だと聞かされたと言つた。マニラから、バランガから、ヘルモサから、また、遠くクララック、カバナンヤンの方角から、彼等は来ていた。難民の群衆の中からは、弱い赤ん坊の泣き声が聞えて味。顔中皺の深い老母が草花模様の派手なサマを着て、戸板の上にくつたりと横たわり、若い女からセリイのようなものを口うつしして貰つてゐる。病人が多く、男も女も眼をきよろつかせてゐる。彼らは誰一人食糧を持っていない。

つづく

再度の訪日記

真木真水 第十回

翌日は宮窪町に住んでいる長女の長男照人の家で兄弟姉妹一同が集って送別会をして呉れる事になつて居るので、出かけて行き、登壇は親戚のお墓参りをなした。夜は孫達と夜更まで楽しく酌み交わして別れを惜んだ。其の翌日は廣島県豊田郡瀬戸町大字名荷に住んでいる姪の池田トナエの家で親兄弟皆が集って私の歓迎会を送別会を兼ねて招待されていたので行く事にした。この瀬戸町は、私の生れ故郷の大島の東北十キロ位の所にあり、周囲二十キロ余りもある大きな島で、有名な瀬戸山耕三寺がある。後に詳しく述べる事にする。姪の主人池田忠正氏はまだ五十代の若さであるが、なかなかの秀才家で、ガソリンボストや雑貨店を大きく経営して居り、借家や地所も相当所有して居り、町会議員にも出て居る人望家で、又なかなかの風流人で、実に見事な庭園を造つて美しい錦鯉を飼ひ、部屋には立派な美術品や絵画、珍らしい骨董品が所狭しと飾られてあり、金目にしたら莫大なるものである。私にも立派な金盃を下さつたので有難く頂戴して帰つた。

夜は集つた十六人が夜更まで愉快に唄つて飲んだ。懇話がよいのと、酒も魚も美味なので、一同十二分に過して寝に就いた。

翌日は一同揃つて耕三寺の観光に出かけた。此の耕三寺は、初代耕三寺、耕三和上が非常な孝行心の深い人で、母を祀り供養するために創建されたもので、和上個が独力に依るものであつたけれど、その美しさに於ても規模の龐大な点でも関西一で、西日光の別名で呼ばれる日本有数の観光地であるにも拘らず、訪日者も此処に足を伸ばす人は少いので、其の沿革規模と美しさを詳細に記すことにする。

耕三寺は、創建した本人が耕三だつたので、その名を附したもので、和上は得度した僧名で、瀬戸山は、瀬戸の響く瀬戸内海の島にあるので、その名が附けられた。

境内の面積は五万平方メートルで随分広い、その境内一杯に寺門殿堂仏物館等二十数棟が建ち並び、その殿堂の間には桜を始の種々な樹木が植えられてあり、花があり、流かかき、池には錦鯉が遊泳し、拡大な境内の隅々まで優雅な施設で満ち溢れている。

是等の殿堂や施設の説明を簡単に述べることにする。山門(真如の門)この山門は京の紫宸殿の御門と同じ様式であるが、違つたのは紫宸殿は白木造りだが、此の門は鉄材十三万屯を使用して建つた朱の上塗り加してあり扉の表面の毫と狛犬の浮彫は川上拙以画伯の構想による。扉一枚の重量四千キロの大扉もベアリング装置が施してあるので、片手で軽く開閉出来る様になつて居る。門の名が真如門と名附けられた由來は、此の門をくぐれば、如来の真如を頂く事が出来ると言つたので、何時しかこう呼ばれる様になつたのである。

(2) 中門は日本最古の建築である大和法隆寺の楼と同型で、飛鳥時代の建築様式で、円柱の上部と下部

を細くして、中央に脹みを持たせた安定型を与えて居る。二階は外観の美のために造られた階段も部屋もな一風変わった門である。

(3) 羅漢堂、中門から左右に長く鍵の手に廻る迴廊で、内部には桧材で彫刻された羅漢像が五百体安置されて居る。此の像は和上加母の迷情を救い、往生安樂の導引に造られたもので、十数年の歳月を要したもので、和上自らも刀を振つた像も少くないと言ふ。

(4) 礼拝堂、この堂は桃山時代の建築様式を採つたもので、桃山時代の建築は、其の時代の精神を反映した形破りで、自由奔放である事が特色であるが、この礼拝堂にもそれがよく現われて居り、国宝清水寺の西門に酷似している。又、繊細な彫刻や華麗な飾り金具など桃山様式を遺憾なく表現している。

(5) 鼓樓と鐘樓、双方とも大和の新薬師寺の鐘樓を型取つたもので、鎌倉時代の様式を具備している。鐘樓には、昭和二十三年十二月盛大な鐘引き供養が行われ、梵鐘が奉獻され、参詣者の撞く鐘聲は殷々として瀬戸田の上空に鳴り響き続けている。

(6) 五重の塔は元來和風の塔の形から出たのだと言ふが、その後色々形が変化し、支那、朝鮮を経て日本にも建てられる様になつたが、其の基礎には仏舍利を納め、仏徳を宣揚する大切なもので、又伽藍の中心とされる大切なものである。

当時の五重の塔は、和上が其の建立を允願され、飛鳥時代の様式に倣つて金堂正面に四メートルの基礎を掘り、自ら棟梁となり采配を振つて完成したという構成の美は院内の観望一層引き立てるものがある。

(7) 法寶藏(仏物館)この仏物館は大坂四天王寺金堂の様式を採つたもので、館内には石塔時代から古墳時代の仏像、仏画、仏器具等七十余点が陳列され、拝観に供されて居る。

(8) 佛宝藏(仏物館)この館は前記の法寶藏と同型同寸

御礼 金一封宛

左記の方々から当団へ御寄附下さいました。誌上を以て厚く御礼申し上げます。

- 鶴 博幸様
- 河 西 壽男様
- ウニオノII男女青年団

冷蔵庫の修理

各種冷蔵庫並びに家庭電気器具類一切の修理の御用はツバ市のオフィス久本へ御用命下さい。安価・確実迅速・丁寧

久本修理工場

ツバ市アネタタモイオ五五〇番地
お問合せは水口商店まで

OFICINA KUMOTO
Av. Tamoio-550, Fone: 1948. TUPÃ SP.

に造られており、館内には日本文化の源流といえる中国の陶器石仏、朝鮮上古の出土品等七十余点が出陳されて居る。この二つの建物の原本だ。大坂四天王子の金堂は戦火で焼滅したが、この両館に依つて正確な面影が見られる。

(9) 孝養の門(日光陽明門の復元) 和上が最後の念願として陽明門の原寸復元の大業を立願したのは昭和二十八年九月であつたが、その基本となる実測の図面の所在が判明せず、大変な苦心の末文部省に唯一ある事が分り、同所に申請して借り受け、建築、彫刻、彩色、金具等各部門の工匠技術者を度々日光へ派遣して、実地見学をさせ、愈々着工十年の歳月を費し、巨額の建築費を投入して漸く完成したのである。

陽明門は、將軍の威光で天下の大名を控つて建造したのであるが、孝三寺の孝養門は和上一二人の力で建てられたのである。

私かオリンピックに行つた時は完成してまだ一年余りしか経つていなかつたので、金箔の光沢などは眩しい程だったが、日光の陽明門は其の頃また修復されたなかつたので、金箔の光沢が薄く、孝養門の方が遙に美しかった。昔は「日光を見れば結構と言ふ勿れ」と言つたが、今は耕三寺を見ずは、結構と言ふなと言いたい。

(10) 信樂殿(大講堂) この建物は京都の日野法界寺の阿彌陀堂の様式を法を採つたもので、寄棟造りで、外陣柱の四面取りや、内陣の丸柱、肘木、灯梁、長押の様式など凡て藤原時代の寺院建築優雅な特徴をよく表現して見事である。当山では、此の堂を大講堂として凡ての法要や説教の場として居る。

(11) 至心殿(新美殿) (博物館) 此の堂も信樂殿と同寸法同形に造られて居り、左右一対の美観を呈している。内部には明治、大正、昭和三代の日本美術最高峰と言われる帝室技芸員、帝展、院展、日展等の審査合格、或は無鑑査、特選等有名作家の彫刻絵画、工芸品等八十余点が陳列されている。この様に近代有名作品が多き一堂に常時公開されている例は全国どこにも無く此処だけだといふ。

(12) 本堂(阿彌陀堂) 本堂は宇治の平等院を復元建立されたもので、左右の翼廊と尾廊から成つており、其の平面は鳳凰の形である。屋根の入母屋は、切妻の寄棟で、仏事全盛と言われた藤原時代の様式を完全に取入れて居り、大屋根の両端には羽ばたく鳳凰が陽光で銀色に輝いている。金色燦然たる大宝殿には精緻な彩色を施された秀麗な御本尊の阿彌陀仏が奉安されて居る。又、西翼廊正面には、高さ三米半の不空羅素観音像が奉安されて居る。

(13) 重要文化財厄除けの釈迦、東壁廊正面には厄除け釈迦如来の尊像が安置されて居る。此の像は藤原時代の作で、明治三十九年既に国宝に指定されて居り、国内有数の名像で、元興福寺の寺宝だつたのを、御縁により当山に奉安される事になつたのである。この尊像は厄除け靈験あらたかたので、厄年の前年御参りすると、必ず厄が除さかれるので、参詣者が絶えない。

(14) 大禮壇は、本堂の前面にあり、極楽の七宝池に因んで造られたもので、幅一間半の縁を四方に巡らし、壇は八間た及び総白の大理石で、腰鏡には瑞草如意輪の浮彫が施されて居る。その雄大と豪華さは他に比類がないと言ふ。歳りは蓮の花が咲いて美しい。

お知らせ
第六フェスタド・ピオン
日時 十月十三日(金)十四日(土)十五日(日)
場所 リットム、マルヤマ球場
尚、十四日(土)の晩にはフェスタド・ピオンの
バイレを催します
皆様御参加下さい

バストス市役所
日本式及ブラシル式
墓 碑 記念 碑
胸 像 石 燈 籠
石 白 ち 白
石材美術彫刻類一切製作
古い墓の修理も致します
アタランチーナ市リオフランコ大通り
電話二二一三九〇番

FABRICA de GRANITO
Av. Rio Branco 64, C. Post. 23, Fone 21.1390
ADAMANTINA SP.

大西石碑工場

大西文吉 郵函二十三番

(15) 多宝塔、これは近江の石山寺にその原本を取つた塔で、その均整の取れた律動的な美は一山の輪奐に一段の美と生彩を加える。塔内には室町時代の大白如來が安置されてある。

(16) 八角円堂(聖徳堂) 此の御堂は大和法隆寺の聖徳太子の御座所であつたを言われる多段を少し縮めて復元建立されたもので、白大理石の壇上に八角の円堂を形ち造つて居る。お堂の内には元展審査員、三木宗策氏の作「聖徳太子十四歳御孝養の徳」を安置して居る。尚堂の西北に松野自得、重松塩山、馬久地草等の、自然石の巨大な句碑が建つて居る。左上げ三人の句。

○み光りは常夜を照らす八重桜 松野自得
○羅漢堂梅雨の猷鬼道救はるる 重松塩山
○一石の冷たさが生む 菩提心 馬久地草亦
銀意閣、八角堂の東側に巨岩と樹林を以つて造営された幽遠な林泉がある。泉水を琵琶の池と称し、泉中に銅板葺き密棟造り、三方に高欄付きの縁を廻らし、内部四方の柱と天井、建具は銀箔を張り、銀閣寺を想わせるものがある。

(18) 茶筌供養堂、この堂は縫針、節、茶筌等が納められてあり、これ等の器具が日常生活に役立って呉れた事に感謝し供養するのである。大和民族の優しさの現れであらうが、山王耕三和上夫妻は特に愛情が深かつたといふ。

又、茶道にも熱心で、数内流の興儀を極めた人で、島の人々にも奨励したので、島民の間にも茶道が盛んである。

以下次号へ

福祉—公共団体チャリテイショー—

日本民謡界の至宝四十名大挙来伯

民謡30曲 本場安来節 三味線曲弾き

尺八・民謡 歌謡

—以上四時間公演—

民謡の祭典

マリリア公演 主催サンパウロ新聞社

来る拾月拾七日(火)午後七時 (夜一回)

場所 シネ マリリア

入場券取次所

入場券 CR 100,00.

ブラ拓事務所・前山商店・長橋商店・宮崎フォト店
永吉靴店・柳浦ハール

農業者恩給に就いて

農業者恩給制度が一九七六年に制定し、農業者はこれに關する掛金を完納して居り、法令の定むる処では掛金を納附してから二年後、六十五歳に達するか、又それ以前の年齢の方も恩給を受取る権利を持つことになつて居りますが、バストスはこの恩給が未だに支給されて居りません。そのため石川雅宏氏、バストスシンジカット、市長の豊島氏等も心配し、当局と交渉を続けて居り、今週も石川氏の弟さんか上聖し、デパルタメント、ベネフィシヨドフォルラールへ行き、プレシデントと直接交渉にしました。愈々この一ヶ月後には必ず支給されることになつた、と有り報せがあらつたという。

これについて石川ドットルから詳しい説明があつたが、今週は紙面都合でドットルの説明を全部記載出来ないので来週号に発表する。ともあれ、このバトロソの恩給制度は世界の何処にも前例がないので、政府当局でもまごつき、支給が遅延しているものと思われ、この制度は連邦政府の法令によるもので、当然受取るべき権利があり、一日も早く支給を實施して戴きたいものである。後一ヵ月位待てと言ふのだから、まぎれして一ヵ月まづより外に方法はあらず。石川ドットルは詳しく皆様の納得の中へ様々に書いてくれと頼まれたが、紙面が足りないで結果だけ御報告申上げ、来週詳細に説明して戴くことにします。

御禮

バストス入植五十周年祭記念碑建立落成に當り、記念寫真大型額縁入りをお贈りして戴きました事厚く御礼申し上げます。然し之開拓館に保存さして戴く事を発表し、重ねて御礼申し上げます。

一九七八年十月三日

バストス草分會

島本寫真館様

農村電話組合員の皆様へ

農村電話があちらこちらに不通の処があります。これは配線工事の不完全な箇所を掘り起して修理中で不通になるので、誠に申し兼ねますが、暫く御辛抱をお願ひ申し上げます。

尚、何日間も不通の場合は組合事務所まで御連絡下さる様お願致します。

バストス農村電話組合

Auto Mecanica BASCAR LTDA

Rua Adhemar de Barros-295, Fone 156 Bastos SP.

Agora em Bastos há uma oficina que você esperava que com mecanico especializada com VOLKSWAGEN e CORCER, Retifica de motores com assistencia preço modico. Auto Mecanica BASCAR LTDA. que você esperava um Auto Mecanica. Agradecemos Preferencia



オフィーナ アトメカ方

皆様のお待ちかねでありました、
ヴォルクスワゲン車並にコルセル車の
専門オフィーナを御当地バストス
に特設開業して居ります。優秀なる
メカニカ皆様の愛車を完全修理と、
調整で最高性能を発揮すること
を以て。しかも修理費奉付的に安くし
て御用命を承って居ります。
何卒御引立を願ひ上げます。
モートルの入れかえ致します。
バストス市・テアアマルデバロス二九五番地

アウトメカニカ バ斯卡ル商会

電話一五六番

Aviso de Cine Bastos

十月六日(金)八時 七日(土)九時半 八日(日)九時半 監督 稲垣一浩
東宝 大作 大坂城物語 三船敏郎 香川京子 山田五十鈴 夏木陽介 田代百合子 市川團子

十月十二日(金)八時 十四日(土)九時半 十五日(日)九時半 監督 加藤泰作
東宝 然色天 日本俠花伝 真木洋子(第一部 野あきみ) 渡 哲也 北大路欣也 加藤 剛 菅原謙吉(第二部 青い牡丹)

十月二十日(金)八時 二十一日(土)九時半 二十二日(日)九時半 監督 中村登
松竹 然色天 花嫁戦争 和田マキ子 左とん平 萩本鉦一 南郷沙織 古き夢志朝 その他大男

十月二十七日(金)八時 二十八日(土)九時半 二十九日(日)九時半 監督 中村登
松竹 文芸 愛と死 栗原小巻 東山千代之子 新劇舞台俳優総出演 新 費利 三島雅夫 芦田伸介 原作 武者小路実篤

十月二日(木)九時半 三日(金)八時 四日(土)九時半 五日(日)九時半 監督 三隅研次
松竹 色彩 桜の代紋 若山富三郎 関口 宏 組織が恐れたわくざ形事、男が怒りが火を吐く、真山知子 全員射殺の実録

NOSSA RELOJOARIA

Rua Adhemar de Barros nº213, Fone: 154, Bastos SP.



めがね専門部開設

眼鏡担当責任 本田 道弘
プラスチック製のレンズ付眼鏡は取落しても割れない・レンズが曇らばすれすれに、軽くして、痕が付き難いなど、ガラスのめがねより沢山の利点があります。御来店の上実物をご覧下さい。

カラーテレビジョン
ステレオ・グラバドール
超小型電子計算機各種
写真機、シネ80ミリ撮影機
幻灯器・陶磁器・銀器・宝石
時計各種・電子ライタ等

柴田時計店

電話一五四番